

都市再生整備計画(第^{だい}2回^{かい}変更^{へんこう})

うつのみやひがしちく
宇都宮東地区

とちぎけん うつのみやし
栃木県 宇都宮市

平成20年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	栃木県	市町村名	宇都宮市	地区名	宇都宮東地区	面積	246 ha
-------	-----	------	------	-----	--------	----	--------

計画期間	平成 16 年度 ~ 平成 19 年度	交付期間	平成 16 年度 ~ 平成 19 年度
------	---------------------	------	---------------------

目標
広域都市圏の拠点都市としてふさわしい魅力ある地域づくり
目標1 街路等の整備改善による利便性・安全性に優れた魅力ある住居空間の創出
目標2 市街地として十分な公共施設を整備することによる防災機能の充実

目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況
<ul style="list-style-type: none"> ・本地区は、JR宇都宮駅に隣接し市街地の形成する上で高いポテンシャルを有する地区であり、現在までに駅東地区・駅東第二地区等土地区画整理事業による面的整備が実施され、市街地として完成されつつあるものの、いまだに土地区画整理事業が完成されていない区域については、公共施設の整備が著しく遅れているところへ加えて無秩序な宅地化が進行している状況である。 ・宇都宮マスタープランにおいて、本地区は機能的な都市基盤や安全で快適な生活環境の整備を基本とした、都心居住地区としての良好な住宅地の整備をすることが位置づけられている。 ・地区住民で構成された、まちづくり協議会等の組織により、地区の問題である河川の溢水を含めたまちづくりの勉強会及び説明会を経ながら事業認可を得た経緯がある。 ・都市計画道路(今泉川田線)はJR宇都宮駅東地区内を南北に縦断する重要な都市内幹線道路であり、その一部は都心環状線として位置付けられ、昭和47年に都市計画が決定された道路である。また、整備にあたっては駅東地区(昭和43年)から着工し組合施行(平松本町第2地区)を含めた5地区で整備を進め、平成16年3月3日に城東地区内の整備が完了し全線(L=3,100m)が開通となった。また、この完成により都市計画道路の整備と整合の取れた区画道路や公園の整備が進めば、周辺道路の渋滞解消や人、車の流れが活発化し、駅東地区の更なる発展が期待される。 ・本地区は昭和54年度に駅東地区、平成7年度に駅東第2地区が施行完了であり、現在、昭和62年度より駅東第3地区、平成7年度より城東地区が施行中である。また地区の骨格となる都市計画道路の基盤整備が完了した中で、区画道路や公園等の整備が遅れている状況の中、都市計画道路との一体的な整備が求められている。

課題
<p>地区を侵食する形での無秩序な市街化が進んでいる状況であり、計画的で良好な都市基盤整備が求められている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区北東側については、普通河川をはじめとする公共施設の整備が遅れた場合、住宅地が密集している地区であり狭小道路や行き止まり道路があることから、河川の氾濫等による防災機能面からも問題が多い。 ・地区の中央に位置する城東小学校に通学する学童の安全を確保するため、学校東側の南北に縦断する区画道路の整備が急務となる。

将来ビジョン(中長期)
安全で快適なまちづくりの実現
<ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮市第4次総合計画において、安全性の高い都市空間を整備することにより、災害に強い都市をつくることを目指している。 ・本地区内の土地区画整理事業未完成の地区の整備を積極的に推進すると共に、土地区画整理事業の進捗に併せて近隣公園・街区公園を整備することにより、安全で快適な住環境を整え、定住人口の拡大を図る。 ・また、都市計画道路の整備に伴って生活道路から補助幹線道路、補助幹線道路から幹線道路といった段階的な道路の役割が確立でき、歩道が整備されることにより歩行者の安全性・利便性を確保する。更に、日常的にみられる交通渋滞を緩和し、環境面を含めた総合的な費用対効果の向上を図る。

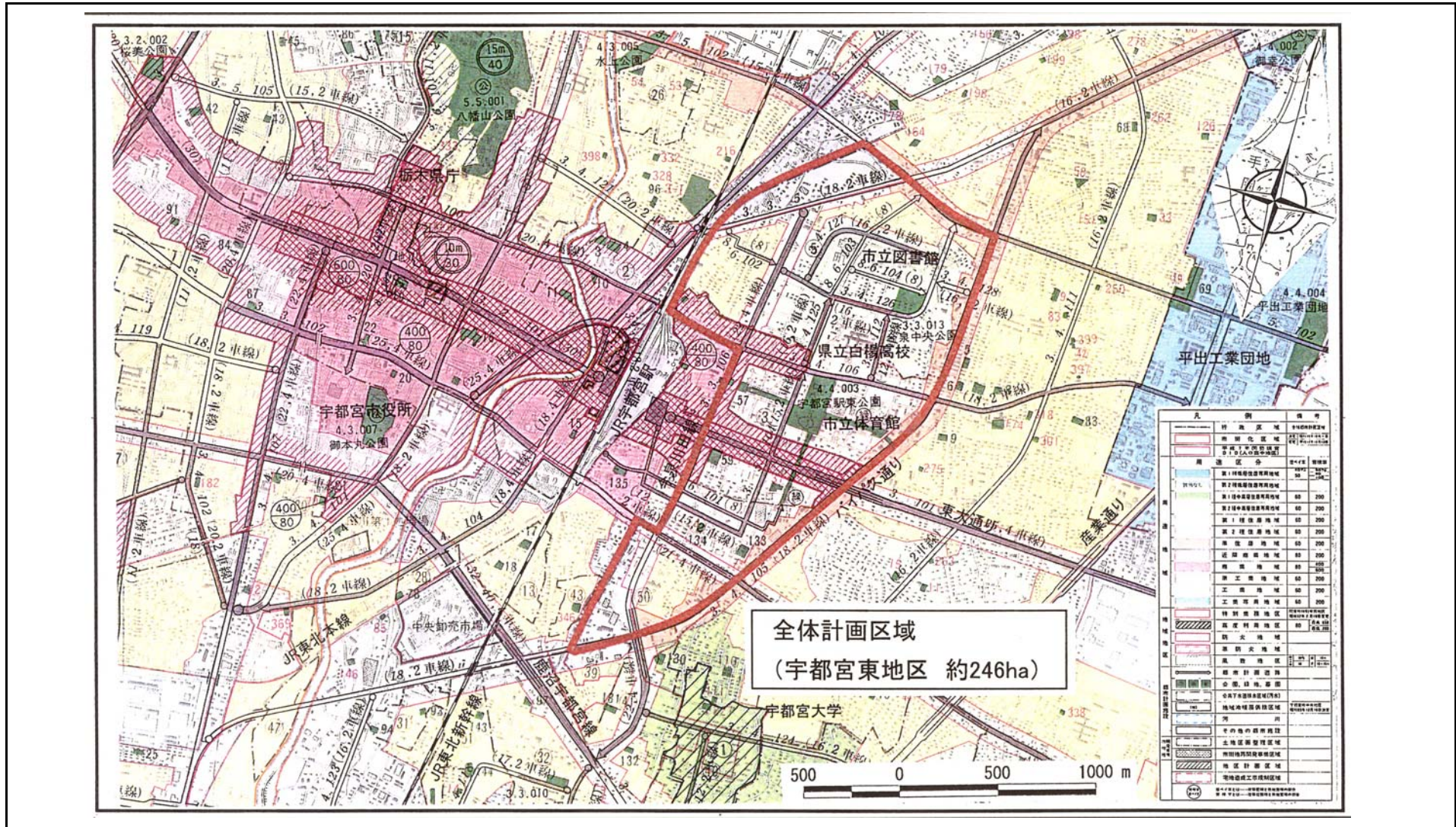
目標を定量化する指標							
指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
人口定着	人	出典「宇都宮市統計資料」	利便性・安全性に優れた環境整備による定住人口の増加	13,000	平成4年	17,000	平成19年度
市立図書館貸出冊数	冊	出典「宇都宮市統計資料」	利便性・安全性に優れた環境整備による貸出総数の増加	680,000	平成6年	1,750,000	平成19年度
河川氾濫による浸水状況	戸	出典「宇都宮市河川課統計資料」	防災機能に優れた環境整備による床上、床下浸水の減少	43	平成3年	0	平成19年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(魅力ある居住地の創出)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR宇都宮駅の機能を最大限生かすため、駅東地区及びその周辺において都市基盤施設の整備をすることにより人口定着を促進する。 ・地区内を通過する都市計画道路3・3・5宇都宮陸羽線、3・3・106今泉川田線やそれに接続する区画道路の歩道部分及び歩行者専用道路の高質化を図り、安全で快適な歩行者空間を確保する。 ・ワークショップによる官民協働の公園計画を推進する。 	<p><土地区画整理事業></p> <p><公園></p>
<p>整備方針2(防災に強いまちづくりの形成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が安心して暮らせる災害に強いまちづくりを推進するため、普通河川奈坪川を整備することにより、災害に対する安全性を高める。 	<p><土地区画整理事業></p>
<p>その他</p> <p>○事業終了後の継続的なまちづくり活動 公園、街路樹網の整備後については、整備に関するワークショップ参加者や自治会、育成会及び子供会等既存の組織を核として、公園愛護会・樹木の里親への移行を働きかけ、活動組織の体制づくりを進めるとともに、維持管理に必要な物品の提供、維持管理リーフレットによる啓蒙活動、管理・活動アドバイザー派遣等を導入するなどして、更なる公共施設の愛護精神の高揚を図り、地域住民を主体とした継続的なまちづくりを支援する。</p>	

都市再生整備計画の区域

宇都宮東地区(栃木県宇都宮市)	面積	246 ha	区域	元今泉2丁目、元今泉3丁目、元今泉4丁目、元今泉5丁目、元今泉6丁目、元今泉7丁目、東宿郷3丁目、東宿郷4丁目、東宿郷5丁目、東宿郷6丁目、宿郷3丁目、宿郷5丁目の全部と今泉町、今泉新町、川向町、築瀬町、平松町、築瀬4丁目の一部
-----------------	----	--------	----	--



宇都宮東地区(栃木県宇都宮市) 整備方針概要図

目標	広域都市圏の拠点都市としてふさわしい魅力ある地域づくり	代表的な指標	人口定着 (人)	13,000 (平成4年度)	→	17,000 (平成19年度)
			河川氾濫による浸水状況 (戸)	43 (平成3年度)	→	0 (平成19年度)
			地域コミュニティの向上 (人)	7,500 (平成15年度)	→	8,700 (平成19年度)

